

# 公共建築のユニバーサルデザインに関する指針

平成20年3月

営繕課

# 公共建築のユニバーサルデザインに関する指針

## 目 次

### 第1章 総則

1.1	目的	-----	1
1.2	用語の定義	-----	1

### 第2章 基本的事項

2.1	基本的な考え方	-----	1
2.2	評価及び検証	-----	1

### 第3章 技術的事項

3.1	施設整備のポイント	-----	2
(1)-1	移動空間(外部)	-----	2
(1)-2	移動空間(建物内部)	-----	4
(2)	行為空間	-----	6
(3)	情報	-----	8
(4)	環境	-----	9
(5)	安全	-----	11
3.2	固有の条件に応じた配慮	-----	11
資料	チェックシート	-----	12

# 公共建築のユニバーサルデザインに関する指針

## 第1章 総則

### 1.1 目的

この指針は、「山梨県公共建築整備指針」において、設計段階の留意事項として位置づけられた県有建築物のユニバーサルデザインに関する基本的な事項について定め、年齢や性別、身体的能力、国籍などの違いにかかわらず、可能な限り多くの人に利用しやすい県有建築物の整備を推進することを目的とします。

なお、上位計画である「やまなしユニバーサルデザイン基本指針」との整合性を図る中で策定したところです。

### 1.2 用語の定義

- (1) この指針において、「ユニバーサルデザイン」とは、年齢や性別、身体的能力、国籍等にかかわらず多様な人々が利用しやすいように建築や生活環境をデザインすることをいう。
- (2) この指針において、「ユニバーサルデザインレビュー」とは、より利用しやすい公共建築の整備を目指し、整備の各段階において行うユニバーサルデザインの視点に立ったニーズの把握、解決策の検討、評価及び検証並びにフィードバックのプロセスをいう。

## 第2章 基本的事項

### 2.1 基本的な考え方

- (1) 公共建築は、年齢や性別、身体的能力、国籍などの違いにかかわらず、可能な限り多くの利用者がサービス等を等しく享受できるよう、安全に、安心して円滑かつ快適に利用できるものとする。
- (2) 公共建築は、それぞれ固有の条件及び特性に応じて柔軟に対応し、利用者のニーズをきめ細やかに考慮したものとする。

### 2.2 評価及び検証

施設の特性に応じたユニバーサルデザインレビューにより、利用者の視点から総合的に評価及び検証を行う。

## 第3章 技術的事項

### 3.1 施設整備のポイント

すべての利用者が、できる限り、円滑かつ快適に利用できる公共建築を整備するための技術的な事項として、(1)移動空間、(2)行為空間、(3)情報、(4)環境、(5)安全の5つの視点から、〔対象部位〕又は〔対象項目〕に記載する部位等を想定して、ユニバーサルデザインの考え方や施設整備に当たっての基本原則を、設計段階における視点を中心に〔施設整備のポイント〕として整理します。

それぞれの視点は、完全に分離できるものではなく、縦軸と横軸の関係のように、密接に関係しています。このため、多角的な視点から検討を行い、できるだけきめ細やかな配慮をした施設整備を目指すこととします。

#### (1) - 1 移動空間（建物外部）

##### 〔対象部位〕

敷地出入り口、歩行者用通路、階段・スロープ、自転車路、駐輪場、車路、駐車場、車寄せ、憩いの場等

##### 〔施設整備のポイント〕

歩行者の安全性及び利便性の優先的な配慮

- ・歩行者と自動車の経路を分離する。
- ・歩行者と自転車の経路をできるだけ分離する。
- ・歩行者用の経路は玄関まで遠回りとならないように計画する。
- ・すべての人ができる限り同じ経路で移動できるよう配慮し、特定の人に特別な移動経路で対応する計画としないように努める。
- ・床は、滑りにくく平坦な仕上げとする。



歩行者と自動車の経路の分離  
(県立博物館)



滑りにくく平坦な床仕上げ  
(県立博物館)

### わかりやすい経路の確保

- ・わかりやすく、連続性のある移動経路とする。
- ・目的場所やそこに至る経路、サインが容易に認識できるように、できるだけ見通しを確保する。
- ・単純かつ明快で、わかりやすいサイン計画とする。



わかりやすいサイン計画（県立中央病院）

### 円滑な水平移動の確保

- ・歩行者用通路に段差が生じないようにする。
- ・やむを得ず段差が生じる場合は、最小限の段差とするよう配慮し、階段とスロープを併設する。



段差のない歩行者用通路（あけぼの医療福祉センター）

### ゆとりある空間の確保

- ・移動や行動がしやすいように、できるだけゆとりを持った空間を確保する。

## (1) - 2 移動空間（建物内部）

### 〔対象部位〕

玄関、玄関ホール、廊下、スロープ、階段、エレベーター、エスカレーター、各室出入口等

### 〔施設整備のポイント〕

わかりやすい空間の構成

- ・簡潔で合理的な移動経路とする。
- ・玄関ホール等の主な地点で、目的地等が把握できるよう、できるだけ見通しを確保する。



わかりやすいよう見通しを確保したエントランスホール  
（県立博物館）

円滑な水平移動の確保

- ・同一階では段差を設けない。
- ・やむを得ず段差が生じる場合は、階段とスロープを併設する。
- ・床は、滑りにくく平坦な仕上げとする。
- ・出入口は容易に開閉できて通過できるものとする。



スロープによる段差の解消（富士ふれあいセンター 玄関）

### 円滑な垂直移動手段の確保

- ・異なる階への移動手段として、原則としてエレベーターを設置する。
- ・階段とエレベーターは、自由に選択できるように近接して設置する。
- ・階段は、安全性や上り下りのしやすさを考慮する。
- ・エレベーターは、様々なニーズを考慮するとともに、乗降時の安全性、十分なスペースの確保や操作のしやすさ等に配慮する。



スイッチ類を工夫したエレベーター内部  
(あけぼの医療福祉センター)



安全性に配慮した階段の手すり  
(甲府支援学校)

### ゆとりある空間の確保

- ・移動や行動がしやすいように、できるだけゆとりを持った空間を確保する。

## (2) 行為空間

### 〔対象部位〕

執務室・会議室、窓口、トイレ、待合い、授乳室、湯沸室、食堂、  
観覧席・客席、浴室、更衣室、その他これらに類する空間、什器、  
スイッチ・コンセント等

### 〔施設整備のポイント〕

#### 使いやすい形状や寸法

- ・室内の構成、カウンターの高さ等什器・機器類の形状や寸法、  
スイッチ等の設置位置や形状は、だれもが使用しやすいように  
配慮する。
- ・すべての人が共通のものを使用することが困難な場合は、それ  
ぞれが快適に使用できる選択肢を確保する。
- ・車いすでの利用に配慮するなど、だれもが使用しやすい多目的  
トイレの設置に努める。



高さを工夫した洗面台  
(あけぼの医療福祉センター)



高さを工夫した受付カウンター  
(県庁本館)



オストメイト対応の多目的トイレ (県立中央病院)



#### 操作のしやすさやわかりやすさ

- ・操作ボタン等は、操作しやすい大きさ、形状等に配慮する。
- ・わかりやすく、誤った操作をしにくい操作方法を選択し、操作方法の表示等に配慮する。
- ・誤った操作を選択しても安全であるように配慮する。



大きくて操作しやすいボタン（あけぼの医療福祉センター）

#### ゆとりある空間の確保

- ・目的とする行為を行いやすいように、できるだけゆとりのある空間を確保する。

### (3) 情報

#### 〔対象項目〕

視覚情報、触知情報、音声情報

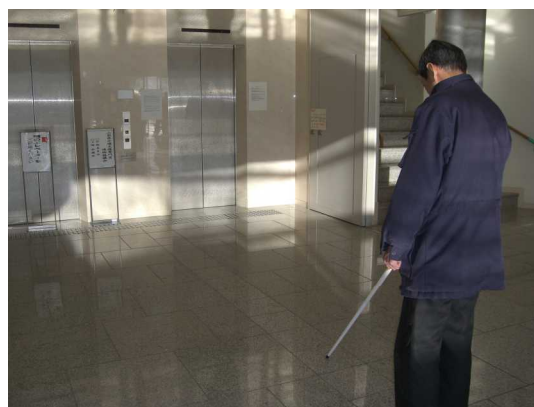
#### 〔施設整備のポイント〕

多角的方法による情報の提供

- ・視覚障害者を考慮した触知情報、音声・音響情報の提供に配慮する。
- ・聴覚障害者を考慮した視覚情報の提供に配慮する。
- ・多様な利用者に対応するため、図記号の活用や外国語やひらがなの併記に努める。



電光表示による文字情報（福祉プラザ）



磁気誘導システムによる音声案内（福祉プラザ）



複数の外国語による案内表示  
（富士ビジターセンター）



発信機による音声誘導案内（県庁本館）

### 単純明快でわかりやすい情報の提供

- ・ 必要な場所で必要な情報が得られる情報提供を行う。
- ・ はっきりと見える大きさ、形状、色、設置位置等により表示する。
- ・ 弱視者を考慮した明度差の確保、色覚障害者を考慮した色彩の選択に配慮する。
- ・ 提供される情報の内容や表現を施設内で統一する。



わかりやすい案内表示（総合交通センター）

## （４）環 境

### 〔対象項目〕

光環境、音環境、熱環境、空気質環境、色環境、触感

### 〔施設整備のポイント〕

身体感覚に配慮した快適な環境の提供

- ・ 見やすさを考慮した光環境とする。
- ・ 聞きやすさを考慮した音環境とする。
- ・ 快適性を考慮した熱環境、空気質環境とする。
- ・ 触れたときの快適性を考慮した素材の使用に配慮する。



高窓による明るく見やすい光環境  
(環境科学研究所)



木材の使用によるあたたかみのある空間の確保  
(甲府支援学校)

### 心理的影響に配慮した快適な環境の提供

- ・色彩の与える心理的影響を考慮した色彩計画とする。



落ち着いた見やすい色彩計画(県立美術館)

## (5) 安全

### 〔対象項目〕

避難、防犯

### 〔施設整備のポイント〕

多角的手段による確実な情報伝達

- ・非常時において、すべての施設利用者が安全に避難できるよう、多角的な情報伝達の確保に努める。なお、施設面のみの対応では限界があるため、適切な人的対応を実施することが望ましい。



見やすい位置に設置し安全に配慮した誘導表示（ふじざくら支援学校）

移動の確保と防犯性の確保の両立

- ・来訪者及び執務者の利用可能な空間における自由な移動の確保と、必要な防犯性の確保との両立を図る。

### 3.2 固有の条件に応じた配慮

施設整備にあたり、気候条件、敷地条件、施設の立地や用途による利用者の構成等は千差万別であり、それぞれの条件に応じた配慮に努める。

		チェックポイント	有無	具体的内容	
移動空間	建物	歩行者の安全性及び利便性の優先的な配慮			
		歩行者と自動車の経路を分離			
		歩行者と自転車の経路をできるだけ分離			
		歩行者の経路は玄関まで遠回りとならない計画			
		すべての人ができる限り同じ経路で移動できる			
	物外	床は、滑りにくく平坦な仕上げ			
		わかりやすい経路の確保			
		わかりやすく、連続性のある移動経路			
		目的場所やそこに至る経路、サインが容易に認識できるようにできるだけ見通しを確保			
	部	単純かつ明快で、わかりやすいサイン計画			
		円滑な水平移動の確保			
		歩行者用通路に段差を設けない やむを得ない場合は、階段とスロープを併設			
	動	ゆとりある空間の確保			
		移動や行動がしやすいようできるだけゆとりを持った空間を確保			
	空間	建物	わかりやすい空間の構成		
			簡潔で合理的な移動空間		
			主要な地点で目的地等が把握できるようにできるだけ見通しを確保		
		物	円滑な水平移動の確保		
			同一階では段差を設けない やむを得ない場合は、階段とスロープを併設		
			床は、滑りにくく平坦な仕上げ		
出入り口は容易に開放でき通過できる					
内		円滑な垂直移動手段の確保			
		異なる階への移動手段として、原則としてEVを設置			
		階段とEVは 近接して設置			
	階段は安全性や上り下りのしやすさを考慮				
	EVは様々なニーズを考慮し、乗降時の安全性、十分なスペースの確保、操作のしやすさ等に配慮				
	ゆとりある空間の確保				
	移動や行動がしやすいように、できるだけゆとりを持った空間を確保				

注) チェックポイントに該当する場合は、有無欄の に レ を記入する。(次頁も同様)

チェックポイント		有無	具 体 的 内 容
行 為 空 間	使いやすい形状や寸法		
	室内の構成、カウンターの高さ等、什器・器機類の形状や寸法スイッチ等の設置位置や形状は誰もが使いやすいよう配慮		
	すべての人が共通のものを使用することが困難な場合は、それぞれが快適に使用できる選択肢を確保		
	車いすでの利用に配慮しただれもが使用しやすい多目的トイレの設置に努める		
	操作のしやすさわかりやすさ		
	操作ボタン等は、操作しやすい大きさ、形状等に配慮		
	わかりやすく、誤った操作をしにくい操作方法を選択し、操作方法の表示等に配慮		
	誤った操作をしても安全であるよう配慮		
	ゆとりある空間の確保		
	目的とする行為を行いやすいように、できるだけゆとりある空間を確保		
情 報	多角的方法による情報の提供		
	視覚障害者を考慮した触知情報、音声・音響情報の提供に配慮		
	聴覚障害者を考慮した視覚情報の提供に配慮		
	多様な利用者に対応するため、図記号の活用や外国語やひらがなを併記		
	単純明快でわかりやすい情報の提供		
	必要な場所で必要な情報が得られる情報提供		
	はっきり見える大きさ、色、設置位置等による表示		
	弱視者を考慮した明度差の確保、色覚障害者を考慮した色彩の選択に配慮		
提供される情報の内容や表現を施設内で統一			
環 境	身体感覚に配慮した快適な環境の提供		
	見やすさを考慮した光環境		
	聞きやすさを考慮した音環境		
	快適性を考慮した熱環境、空気質環境		
	触れたときの快適性を考慮した素材の使用		
	心理的影響に配慮した快適な環境の提供		
色彩の与える心理的影響を考慮した色彩計画			
安 全	多角的手段による確実な情報伝達		
	非常時において、施設利用者が安全に避難できるよう多角的な情報伝達を確保		
	移動の確保と防犯性の確保の両立		
	来訪者及び執務者の利用可能な空間における自由な移動の確保と必要な防犯性の確保との両立		

注) チェックポイントに該当する場合は、有無欄の に レ を記入する。

ユニバーサルデザインに配慮した項目数(レを記入した数)	/ 41
-----------------------------	------